

広報
おさん
新潟県津南町

No.771
2025
9.20
TSUNAMI TOWN

未来に響かす
平和の鐘



features

- 04 **【特集】**
広島平和記念式典派遣事業
- 14 **予防接種のおしらせ**

regulars

- 03 **ガンバレ！おらどこの津南のしょ マイナ救急が始まります！**
- 10 **見て・知って・得をする かわらばん**
- 13 **健康づくり 100日運動 議会コーナー**
- 16 **いきいき大好き津南町**
- 17 **大地の芸術祭 年金コーナー**
- 18 **つなんの文芸**
- 19 **地域おこし協力隊だより 農業の豆知識**
- 20 **Tap でいこう!! 継業サポートセンターからのお便り**
- 21 **広報ライブラリー**
- 22 **うもれあ日記 苗場山麓ジオパーク日本認定 10周年**
- 23 **なじょもん通信**
- 24 **町長の部屋 270ちゃんねる 広報無線聞き直し**
戸籍の窓 広報編集室 津南町の人口



このコーナーは町内のかたで学術文化・スポーツの部門で全国大会等に出場した人を紹介します。

令和7年7月27日~31日 開催 (開催地:香川県 高松市)
第49回全国高等学校総合文化祭 写真部門 出展



作品名『門出』

津南中等教育学校5年 **原** ^{りゅうが} **琉芽** さん(鹿渡)



令和7年7月25日~29日 開催 (開催地:広島県 広島市)

第78回 全国高等学校陸上競技対校選手権大会 出場



男子砲丸投 予選 A 組 17 位

開志国際高校2年 **樋口** ^{てんしん} **天真** さん(正面)



情報をお待ちしております!

各方面で全国レベルの大会に出場されるかたをご存じのかたは情報をお寄せください。
連絡先:教育委員会生涯学習班 (津南町公民館) TEL 765-3134

マイナ救急が始まります!

十日町地域消防本部では、マイナ保険証(保険証の利用登録をしたマイナンバーカード)を活用した救急活動、いわゆる「マイナ救急」を総務省消防庁と連携して行います。

「マイナ救急」とは…救急隊が必要に応じて傷病者のマイナ保険証を専用機器で読み取り、病歴や処方薬などの情報を閲覧することで、適切な処置や医療機関の選定につながり、より迅速な搬送や救命率の向上が期待されます。



皆さまのご理解とご協力をお願いします。

【10月発行の消防広報紙「火の用心」で詳しくお知らせする予定です】

消防本部警防課救急室 TEL 025-757-1558



自分の医療情報などを救急隊に伝えることができる



適切な搬送先病院の選定や応急処置ができる



病院で治療の事前準備ができる

総務省消防庁
ホームページ



マイナ救急紹介動画
[YouTube]



中学生広島訪問派遣事業

世界中の人が「平和」を願う



津南町から中学生4人が広島市の平和記念式典に参加しました。戦争から80年という節目の年を迎え、被爆者の平均年齢は86歳を超えました。高齢化が進む中で、体験談を聞く貴重な時間を通して、生徒たちは何を感じたのでしょうか。

人類史上初の原子爆弾が
広島に投下され80年

1945年8月6日、原爆が投下され、それから80年後の今年8月6日に、広島は「原爆の日」を迎えました。炎の中で水を求めながら亡くなられたかたがたのために、広島市内17か所から集めた水を捧げ始まった原爆死没者慰霊式・平和記念式（平和記念式典）。30万人を超えた原爆死没者を追悼するために被爆者や遺族や約5万5000人が参列しました。

松井一實広島市長は平和宣言で、「『自国を守るためには、核兵器の保有もやむを得ない』という考え方が各国で強まりつつある事態は、過去の悲惨な歴史から得た教訓を無にするものだ」と述べました。また、「私たち市民は決してあきらめることなく、真に平和な世界の実現に向けて、核兵器廃絶への思いを市民社会の総意にしていかなければならない」と話し、平和を強く願いました。



見舞金を原爆養護ホームのかたへ手渡しました



原爆養護ホームの皆さまから貴重なお話を聞きました



津南から持って行った折り鶴を捧げました



平和への祈りを捧げました



広島市に義援金を手渡しました

昨年に引き続き、原爆被爆者のために寄付をさせていただきますので、ご紹介します。

広島市義援金……………30,000 円

原爆養護ホーム見舞金……………20,000 円

この寄付は被爆者援護事業に活用されます。



広島が教えてくれたこと

一発の原子爆弾が広島を壊滅させ、多くの人々の命を奪ってから八十年。街の中心に残る原爆ドームは、戦争の悲惨さを伝え続けています。美しい街並みの一方に残る爪痕を目にし、ここまで復興させてきた人々の苦勞と平和への強い思いを痛感しました。戦争は二度と起きてはならず、原爆投下の事実は決して忘れてはならないと感じました。

神田山やすらぎ園では、子どもの頃に被爆したかたがたから体験を伺いました。「母の介護が大変だった。被爆で目が見えなくなっただから。」と語るお年寄りの言葉に、望む人生を奪われたつらさと悔しさが伝わってきました。親戚の家に行くために川を長時間歩いた体験を話してくださるかたや、涙ながらに語るかたもおられ、僕自身も涙がこみあげてきました。被爆者の生の声を聞いたことで、戦争



津南中学校3年
たきざわ しゅんた
滝沢 俊太さん

の恐ろしさと命の尊さを深く実感しました。

平和記念資料館では、写真や遺品、焼け焦げた衣服や熱で溶けた仏像などが展示され、目を背けたくなるほどの惨状が記録されていました。放射線による後遺症の写真も胸を締め付け、原爆の恐ろしさを改めて思い知らされました。

三日間の広島派遣を通じ、戦争は絶対に起こしてはならないこと、命と平和の尊さを強く学びました。原爆投下の地を訪れ、被爆者の声を聞き、平和祈念式典に参加できたことはかけがえのない経験です。戦後八十年を迎えた今も世界では争いが続いています。平和の誓いの「one voice」という言葉のように、僕自身も戦争の悲惨さと平和の大切さを伝え、広めていきたいです。誰もが安心して暮らせる世の中になるよう、考え行動していこうと思います。



未来へつなぐ平和の願い



津南中学校3年
やまだ まなか
山田 真奈華さん

八十年前の八月六日午前八時十五分、広島に原子爆弾が投下され、人々の暮らしは一瞬で奪われました。爆心地からわずか百六十メートルの距離で被害を受けた原爆ドームは、もとは広島県内の土産を展示・販売する施設でした。今は黒く焼け、折れ曲がった鉄骨が当時の惨状を伝えています。神田山やすらぎ園では、被爆者のかたがたから直接お話を聞きました。火傷を負って水を求めさまよう人々、食料がなくヨモギ汁で飢えをしのいだ人々。話を聞くだけで情景が浮かび、胸が痛みました。

展示の中には中学生の制服もあり、私と同じ年齢の子が原爆で命を奪われたと思うと信じられません。資料館の展示品は、原爆の恐ろしさを強く訴えていました。今も世界のどこかでは戦争が続き、家族と共に食事をすることすらできない人々がいます。一方で、私たちは当たり前のように平和に暮らしています。この当たり前が幸せがどれほど尊いものかを実感しました。平和祈念式典や資料館には多くの外国人も訪れており、原爆や戦争の悲惨さを世界に伝えているのだと思いました。戦争を知らない世代が増えていく中で、私たちにできることは体験や記録を次の世代へ伝えていくことです。二度と同じ過ちを繰り返さないために、そして核兵器のない世界を実現するために、私は平和を願い続けます。



平和の大切さを学んで

ちょうど八十年前の昭和二十年八月六日午前八時十五分、広島街を一瞬で壊した原子爆弾が投下されました。その原爆の恐ろしさを、このたびの広島派遣を通して強く感じることができました。ここでは、特に印象に残ったことを紹介します。

まず一つ目は、原爆養護ホーム神山山やすらぎ園を訪問したことです。被爆者のかたがたが体験を語ってください、当時の悲惨な状況を知ることができました。八十年という歳月が経っても、その記憶は昨日の出来事のように鮮明に語られ、戦争の残酷さを改めて実感しました。

二つ目は、平和祈念式典への参加です。原爆が落とされた八時十五分には会場全体で黙祷を捧げ、その後、広島市長の平和宣言や広島県知事、内閣総理大臣からの話がありました。この式典を通して、原爆投下や戦争の記憶を風化させず、平和への



津南中学校3年
こばやし よしちか
小林 義周さん

願いを引き継いでいくことの大切さを学びました。

三つ目は、広島平和記念資料館の見学です。被爆当時の写真や遺品を目にし、原爆の恐ろしさを視覚的にも感覚的にも理解することができました。また、核実験や核兵器廃絶の活動についても知り、核兵器が今なお人類にとって大きな課題であることを考えさせられました。

このほか、文化交流館で式典の意義について学び、灯籠流しの願い事も書きました。実際に流すことはできませんでしたが、平和を願う多くの思いが届いてほしいと感じました。

今回の広島派遣を通して、戦争の悲惨さや被爆者の苦しみは決して消えることのないのだと知りました。そして、その記憶を語り継ぎ、平和の大切さを未来につなげていく責任が自分たちにあるのだと強く感じました。



八十年前からの声を受け継ぐ

八十年前の八月六日午前八時十五分、広島は一瞬にして悲惨な街となりました。私たちは広島派遣を通して、平和の尊さや戦争の恐ろしさを深く学ぶことができました。

最初に訪れた神田山やすらぎ園では、被爆者のかたから当時の体験を伺いました。父を戦争で失い、母は視力を奪われ、食料も寝床もない中で生活。さらに重症者の看病では、「水を飲ませてほしい」と懇願されても、水を与えると死に至るため飲ませられなかった、と涙ながらに語られました。その苦しみは想像を絶するものでした。

次に訪れた平和記念資料館では、被爆直後の街の様子を描いた絵や数多くの遺品を目にしました。爆風で吹き飛ばされた人々、炎から逃れようと川へ飛び込み命を落とした人々、皮膚が焼け

ただれて垂れ下がる姿など、目を覆いたくなる光景が生々しく描かれていました。印象に残ったのは、後遺症と闘いながらも未来への希望を綴った青年の日記です。苦しみの中で「生きよう」とする強い意志に心を打たれました。

この三日間で、私は戦争への見方が大きく変わりました。日本は今平和ですが、世界にはいまだ戦火に苦しむ国があります。被爆者のかたがたは「平和が当たり前の世界」を強く願っておられました。しかし、被爆者の平均年齢は八十六歳となり、直接お話を伺える機会は減っています。だからこそ、今回得た貴重な体験を私たちが多くの人に伝え、平和の大切さを広めていくことが大切だと思います。



津南中学校3年
くぼた しゅか
久保田 朱花さん

暮らしの
情報満載

見て・知って・得をする かわらばん

募集

さやま大茶会参加者大募集

銘茶の産地として知られている友好
交流都市・狭山市で、今年も恒例の「さ
やま大茶会」が行われます。

秋の澄んだ青空の下、お茶の香るま
ち狭山市で、楽しく過ごしてみませ
んか。お茶の作法をよく知らなくても参
加できます。

■場所

埼玉県狭山市稲荷山公園

■日時

11月9日(日)

午前6時20分 役場集合

午前10時～正午 大茶会

正午～午後1時 昼食

午後1時～3時 近隣地観光

午後6時30分 役場到着

※詳しい日程は、後日参加者に別途通
知します。

※竜ヶ窪の水でお茶がたてられます。

※会場では、津南物産展も開催され
ます。

■参加費

お一人 3,000円

※ただし、小学生以下1,500円

※参加費には、昼食代、保険代、茶席

券(2枚)等が含まれます。

■募集定員 20名(先着順)

10月17日(金)までにお申し込みくだ
さい。

■お申し込み先

総務課企画財政班

Tel 765・3112

韓国の郷土料理を作って みませんか？参加者募集！

町公民館では、「郷土料理教室」を
開催します。対象者は老若男女、町内
在住ならどなたでも参加できます。家
族に喜ばれる料理ですので、お気軽に
参加ください。

■日時(第6回目)

10月22日(水) 午後7時から9時

■講師 風巻 晃子さん

■内容 チャプチェ

■参加費 500円

■持ち物

エプロン・三角巾・マスク

■場所

津南町総合センター 調理室

■参加申込締切 10月15日(水)

町公民館(Tel 765・3134)へ

申し込みください。

■その他

11月の予定は、10月20日号の広報紙
でお知らせします。

「津南町高齢者生活福祉センター」 の指定管理者の公募について

津南町高齢者生活福祉センターの指
定管理者を公募しています。

■指定期間

令和8年4月1日から

令和13年3月31日まで(5年間)

■公募方法

福祉保健課に設置の申込用紙と、そ
の他必要となる添付書類を提出してく
ださい。

詳しい内容は、福祉保健課窓口また
は町ホームページをご確認ください。

■公募期間

令和7年10月1日(水)から22日(水)まで

■お問い合わせ・お申し込み先

福祉保健課福祉班

Tel 765・3114

「津南町健康増進施設」の 指定管理者の公募について

津南町健康増進施設(ケアハウス津南・
サンビレッジ津南)の指定管理委託期間
が令和8年3月31日をもって満了と
なるため、新たに指定管理者を募集
します。

■指定期間

令和8年4月1日から

令和13年3月31日まで(5年間)

■公募方法

公募要項を確認の上、指定の申込書、
必要書類をあわせてご提出ください。
(公募要項及び指定の申込書は、福祉保健課
窓口で請求、町ホームページからダウンロー
ドできます。)

■公募期間

令和7年10月1日(水)から22日(水)まで

■お問い合わせ・お申し込み先

福祉保健課 健康班

Tel 765・3114

町づくり検討委員を募集します

町では、「津南町まち・ひと・しごと
創生総合戦略」の策定及び「津南町
総合振興計画」の検証と見直しのため、
次のとおり「町づくり検討委員」を募
集します。

■策定の進め方

両計画の策定及び検証と見直しにあ

たつては、町民代表及び各団体の代表等で構成する町づくり検討委員と町職員により策定委員会（仮称）を組織します。応募いただいたかたを分野別チームに分け、令和7年11月から令和8年3月にかけて計画策定及び検証と見直しを行います。検討する分野については、応募いただいたかたにお示し、希望調査を行います。

■募集定員 5名

■任期

選任された日（令和8年3月末）

■報償 策定会議出席に係る報償費をお支払いします。

■応募資格

・町内にお住まいのかた（町内に住民登録または外国人登録をしているかた。国籍は問いませんが、日本語を理解できるかた。）
・年齢18歳以上のかた（高校生は除く）
・平日の昼間や夜間に開催される会議に出席できるかた

■応募方法 お電話または書面にて、お申し込みください。

※書面で応募する場合は、町ホームページに掲載されている応募用紙または任意の用紙に住所・氏名・性別・連絡先を明記してください。

■応募期限 10月14日（火）

■お問い合わせ・お申し込み先
総務課企画財政班

TEL 765・3112（内線228）

事務養成科1期 令和7年11月入校生募集

■対象

パソコンの知識・技能を習得し就職を希望するかた

■期間

11月7日（金）から2月6日（金）

■時間

平日午前9時から午後3時50分

■会場

魚沼サンテイクスクール
（南魚沼市西泉田48番地1）

■定員 15人

■受講料

無料。ただし、テキスト代・受験料等自己負担あり。

■お申し込み先

ハローワーク十日町

■締切 10月16日（木）

■お問い合わせ先

県立魚沼テクノスクール

TEL 025・794・2410

町政施行70周年記念 津南町人権啓発講演会

『共に生きるとは何か・難民の声、家族の歴史から考えた多様性』

シリアやパレスチナ・ガザなど世界各地で紛争が続く中、多くの人々が命の危険から逃れ、故郷を追われていま

す。日本にも難民として避難してきた人々が暮らしていますが、難民認定の壁や、さまざまなルーツを持つ人々への偏見や差別といった課題が存在します。本講演では、国内外で出会った人々の声や、家族の歴史を交えながら、「共に生きるとは何か」を考えます。多様な背景を持つ人々とどう向き合い、共に生きる社会を築いていくかを、参加者と共に深めていく時間とします。

※令和7年度地域人権啓発活動活性化事業

■講師

安田菜津紀（やすだなつき）
（認定NPO法人 Dialogue for People 副代表、フォトジャーナリスト）

■日時

10月25日（土）午後1時30分から

■会場

津南町文化センターホール

■参加費 無料

■定員 約400名

※定員になり次第締め切り。

※駐車場に限りがあります。

※当日空き席があれば、事前申込み無しでも参加は可能です。

■お申し込み

電話申し込みほか

※詳細は、町ホームページまたは9月5日号お知らせ版をご覧ください。

■お問い合わせ先

税務町民課 町民班

TEL 765・3113

子育て

令和8年度

保育園の入所受付について

来年度の保育園入所申し込みの受付を行います。入所を希望するかたは、教育委員会子育て教育班または各保育園から申込用紙等を受け取り、提出してください。（申込用紙等は町ホームページからもダウンロードできます。）

■受付期間

10月1日（水）から10月21日（火）

※次年度の保育士配置及び予算編成の関係上、受付期間がこの時期となりますがご了承ください。

■保育園の定員等

・次頁のとおりです。ただし、入所対象児童は、令和8年4月1日での満年齢です。
・乳児保育は8ヶ月以上1歳未満児が対象です。

・定員を超えた場合は、入所選考があります。

■年度途中入所について

出産予定で令和8年度途中に仕事復帰が決まっているなど、途中入所を希望するかたも、必ず受付期間内に申込みください。

※近年3歳未満児の入所が増加しており、年度途中の3歳未満児の入所は、保育士の配置が決定している（追加

で未満児に保育士を割り当てるのが難しい)ため、保育園に入所できない場合があります。

■入園の基準・手続きについて

入園の基準や手続きなど、詳しい内容は、入所申込書に同封するお知らせ、または町ホームページをご覧ください。

■お問い合わせ

教育委員会子育て教育班

TEL 765・3118

FAX 765・4625

給食	保育料	入所対象	施設名・(所在地)・定員			
あり(3歳以上児は主食持参)	父母等の所得に応じた住民税合算額等により決定	全就学前児童(0歳〜5歳)	こぼと保育園(正面)	わかば保育園(谷内)	上郷保育園(上郷逆巻)	北部保育園(十二ノ木)
			70人	60人	60人	70人
						ひまわり保育園(大割野) 120人

相談

第2回ものわすれ相談会の
お知らせ

認知症の専門医によるものわすれ相談会を開催します。今年度、最後の相談会です。相談はオンライン形式で行います。相談を希望されるかたは事前に左記までお申し込みください。

■日時 10月14日(火)

午後1時30分から4時

■会場 津南町役場

■相談対象者 本人および家族

■相談医師

ゆきぐに大和診療所

宮永(みやなが)先生

■相談料 無料

■申込締切 10月3日(金)

定員になり次第、締め切らせていただきます。

■お申し込み・お問い合わせ

福祉保健課保険班

TEL 765・3114

行政書士による無料法律相談会

■日時

10月10日(金) 午後1時から4時

■会場 十日町市情報館第二集会所

■対象

十日町市・津南町に在住のかた

■内容 各種許認可や遺言・相続手続に関する相談

■お問い合わせ・お申し込み先

完全事前予約制

新潟県行政書士会魚沼支部 瀧澤

TEL 090・8252・7580

イベント

2025妻有木育フェスタ及び
ノコンセントJOMONの風
2025イベントの開催について

◎2025妻有木育フェスタ

■日時 10月19日(日)

午前10時から午後3時

■場所

農と縄文の体験実習館なじよもん

縄文ムラ

■料金 参加無料、一部有料

■定員 なし

■内容 主にご家族で森焼に親しんでいただくイベント。建前体験、もちまき、水沢の石場かち、木のおもちや体験、木登り体験、工作体験等先着100名様に来場者プレゼントあり。

■申込 不要

■後援 津南町教育委員会

■お問い合わせ先

あてま森と水辺の教室ポポラ内

妻有木育推進協議会

TEL 758・4811

◎ノコンセントJOMONの風
2025イベント

■日時 10月19日(日)

午後4時から(予定)

■場所

農と縄文の体験実習館なじよもん

縄文ムラ 竪穴住居内

■料金 参加無料

■内容

魚沼市観光大使兼シンガーソングライター 星野裕矢氏によるアコースティックギター演奏など。

■演奏者略歴

星野裕矢

・宇宙戦艦ヤマト2202愛の戦士たち第4章天命編エンディング主題歌

歌唱

・川治小学校創立150周年記念ソング作詞作曲。

・2014年、安全地帯ギタリスト矢萩渉氏と武沢侑昂氏とともにバンドEZOを結成。

■お申し込み 不要

■お問い合わせ先

農と縄文の体験実習館なじよもん

TEL 765・5511

要約筆記体験会のご案内

聴覚障害者への意思疎通支援の行い方を体験していただく「要約筆記体験会」を開催いたします。

■開催日

- ① 10月26日(日)
- ② 11月2日(日)
- ③ 11月9日(日)

■時間

- ① 午後1時30分から午後3時45分
 - ② ③ 午後1時30分から午後3時30分
- (いずれも開場 午後1時)

■内容

- ① わかりやすい書き方入門編
 - ② 手書きでチャレンジ実技編
 - ③ パソコン入力実技編
- (③受講のかたは、ノートパソコンをご用意ください。)

■会場 十日町情報館 集会室

(西本町2丁目1-1)

■条件

津南町、十日町市等お住まいのかた

■参加費 無料

■お申し込み・お問い合わせ先

聴こえサポートうさぎ・

十日町要約 筆記サークル事務局

Tel 090・2985・1588

(ショートメール可)

■その他

「要約筆記」は、聴こえにくいかたに、話の内容をリアルタイムに書いて伝えるコミュニケーション支援です。わかりやすく体験できる学習会です。「要約筆記」について知りたいかた、サポートをしてみたいかたはお気軽にどうぞ。ご参加ください。

中津川運動公園グラウンド
ゴルフコートの使用について

中津川運動公園下の芝生にグラウンドゴルフコートが常設してあります。ステイク・ボールなどの用具も置いてあり、どなたでも使用ができますので秋の良い季節、楽しんでみてはいかがでしょうか。

利用された用具は必ず元の場所に返却してください。なお、申込は不要で、利用期間は10月末までです。

■お問い合わせ

津南町総合センター

Tel 765・5776



用具はこちら



ぜひご利用ください

寄附の紹介

企業版ふるさと納税による

ご寄附をいただきました

次の企業様から、企業版ふるさと納税としてご寄附をいただきました。

いただいた寄附金は、それぞれご要望いただいた事業に活用させていただきます。

・有限会社 応用様

寄附額 20万円

充当先 生涯学習関連事業

・ミユキメンテナンス株式会社様

寄附額 15万円

充当先 道路関連事業

(五十音順)

健康体力づくり 100日運動

前月までに100日運動カードを提出いただいたかたを、このコーナーでご紹介します(敬称略)

- 4100日 石橋俊治(割野)
- 4000日 大倉マツ(小下里)
- 3700日 板場喜恵子(辰ノ口)
- 1300日 桑原理恵(貝坂)
- 100日 涌井美枝子(寺石)

主な運動:テレビ体操、ラジオ体操、健骨体操、ウォーキング 他

議会コーナー

＜実施された行事＞

- 〔8月〕
- 19日 第5回臨時会
- 22日 議会だんだんよくする住民懇談会
- 28日 新潟県後期高齢者医療広域連合議会定例会(広域連合議員)
- 29日 議会運営委員会
- 〔9月〕
- 2日 全員協議会
- 2日 埋蔵文化財センターうもれあ内覧会
- 4日~12日 第3回定例会
- 17日 民生児童委員協議会との懇談会(総文委員会)

＜今後予定されている行事＞

- 〔9月〕
- 22日 議会だんだんよくする住民懇談会
- 26日 十日町地域広域事務組合議会定例会(議長、組合議員)

〔10月〕

- 7日 議会運営委員会
- 7日 全員協議会
- 7日 建策要望事項検証会

＜津南町議会だんだんよくする懇談会＞

日 時: 9月22日(月) 午前10時~午後3時
場 所: 大割野 まちなかオープンスペースだんだん
参加議員: 関谷一男、風巻光明、桑原洋子
テ マ: 「公共交通及び農業の諸課題に関すること ほか」

毎月22日に開催します。お気軽にご参加ください。テーマに限らずお話しただいて結構です。

令和7年度 インフルエンザ予防接種費用助成

高齢者と小児・妊婦を対象に、インフルエンザ予防接種費用の一部助成を行います。

	●高齢者（定期接種）	●小児・妊婦（任意接種）
対象者	津南町に住所があり、接種日において次のいずれかに該当するかた ① 65歳以上のかた ② 60～64歳で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するかた（身体障害者手帳1級相当） ※②の対象者には接種券をお送りします。	津南町に住所があり、接種日において ① 生後6か月から中学3年生までのかた ② 妊婦のかた
実施期間	令和7年10月1日～令和8年3月31日	
自己負担額及び助成額	【自己負担額】 1,650円 （町の費用助成が適用された金額） ※「町民税非課税世帯」または「生活保護受給世帯」に属するかたは自己負担が免除されます。事前に福祉保健課で「自己負担免除券」の交付を受け、接種当日に医療機関に提出してください。	【助成額】 ① 小児 接種1回につき 2,000円 ② 妊婦 1,000円 ※接種料金は医療機関によって異なり、接種料金から助成額を引いた額が自己負担額となります。
実施協力医療機関	津南病院、石川医院、古藤医院、上村診療所、池田医院、たかき医院、本町クリニック、庭野医院（かかりつけのみ。要窓口予約）、山口医院（袋町）、山口医院（下条）、十日町中央クリニック、村岡整形外科クリニック、ほり内科クリニック、飯山赤十字病院、いいやま診療所 ※新潟県内の医療機関であれば、同じ自己負担額で接種できます。 ※飯山赤十字病院・いいやま診療所を除く新潟県外の医療機関・施設に入院・入所されているかたで、接種を希望する場合は、事前に福祉保健課で手続きが必要です。	【小児】 津南病院、石川医院、古藤医院、上村診療所、池田医院、たかき医院、本町クリニック、庭野医院（かかりつけのみ。要窓口予約）、山口医院（袋町）、山口医院（下条）、十日町中央クリニック、村岡整形外科クリニック（就学児のみ）、ほり内科クリニック、飯山赤十字病院、いいやま診療所（小学生以上） 【妊婦】 石川医院、古藤医院、上村診療所、池田医院、たかき医院、本町クリニック、庭野医院（かかりつけのみ。要窓口予約）、山口医院（袋町）、山口医院（下条）、十日町中央クリニック、ほり内科クリニック ※上記以外の医療機関で接種を受けた場合は、払い戻しによる助成となります。（申請が必要です）
津南病院日程	予約受付：令和7年9月22日（月）～令和7年12月12日（金） 接種期間：令和7年10月1日（水）～令和7年12月26日（金） 電話予約：平日午後2時～4時（TEL 765-3161）	
接種方法	<ul style="list-style-type: none"> 接種を希望されるかたは、直接医療機関に予約のうえ接種を受けてください。（予診票は医療機関にあります） 接種券等の個別送付はありません。（定期接種の②の対象者を除く） 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 流行前の10月から12月中旬までに接種するとより効果的です。 ワクチンには限りがあり、期間内でも受付が終了している場合があります。 	

■お問い合わせ 福祉保健課 健康班 TEL 765-3114

令和7年度 新型コロナウイルス感染症定期予防接種

重症化予防を目的とした定期接種（対象者限定）を実施します。費用は原則有料となります。

定期接種 対象者	津南町に住所があり、接種日において次のいずれかに該当するかた ① 65 歳以上のかた ② 60～64 歳で、心臓・腎臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するかた（身体障害者手帳 1 級相当） ※②の対象者には接種券をお送りします。
実施期間	令和7年10月1日から令和8年3月31日
自己負担額	未定 ※決まり次第、広報紙及び町ホームページでお知らせします。
実施協力 医療機関	津南病院、石川医院、古藤医院、上村診療所、池田医院、本町クリニック、庭野医院（かかりつけのみ。要電話予約）、山口医院（袋町）、山口医院（下条）、十日町中央クリニック、村岡整形外科クリニック、ほり内科クリニック、飯山赤十字病院、いいやま診療所 ※新潟県内の医療機関であれば、同じ自己負担額で接種できます。 ※飯山赤十字病院・いいやま診療所を除く新潟県外の医療機関・施設に入院・入所されているかたで、接種を希望する場合は、事前に福祉保健課で手続きが必要です。
津南病院 日程	受付期間：令和7年12月15日(月)～令和8年1月30日(金) 接種期間：令和8年1月5日(月)～令和8年2月27日(金) 電話予約：平日午後2時～4時（TEL 765-3161）
接種方法	<ul style="list-style-type: none"> 接種を希望されるかたは、直接医療機関に予約のうえ接種を受けてください。（予診票は医療機関にあります） 接種券等の個別送付はありません。（②の対象者を除く）
その他	<ul style="list-style-type: none"> この予防接種は、接種を受ける努力義務はありません。本人が希望する場合に限り実施します。 新型コロナワクチンと他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。特に医師が認めた場合は、他のワクチンとの同時接種も可能です。 定期接種の対象者以外のかたや、定期接種の実施期間外で接種する場合は、任意接種として全額自己負担で受けることができますが、接種費用は医療機関によって異なります。

■お問い合わせ 福祉保健課 健康班 TEL 765-3114

いきいき、
大好町
津南

9月は

健康増進普及月間です

【統一標語】

1に運動2に食事3しっかり禁煙
最後にクスリく健康寿命の延伸く

今月は
大平裕加里
保健師



9月は「新潟県自殺対策推進月間」

ひとりで悩まずに

相談をしましょう。



今月は
北村 知子
保健師



けてください。

また、問題を解決するために専門機関や相談窓口につないでください。その後も、本人に寄り添い、見守りを続けることで孤立感や不安が和らぎます。身近な人からの声かけや関わりで救われる命があります。

相談窓口の紹介

こころが疲れた時、死にたいほどつらい時、誰かに話を聞いてほしい時は相談してください。また、周囲にこのような人がいる時など、ご利用ください。

●自殺予防ののちの電話（フリーダイヤル）

TEL 0120・783・556

毎日 午後4時～午後9時

毎月10日 午前8時～翌日（11日）

午前8時までの24時間

●新潟県こころの相談ダイヤル

TEL 0570・783・025

毎日・24時間対応

●中越地域のちこころの支援センター

TEL 0258・88・0070

平日 午前8時30分～午後5時15分

●十日町地域振興局 健康福祉部

TEL 025・757・2402

平日 午前8時30分～午後5時15分

●津南町役場福祉保健課 健康班

TEL 025・765・3114

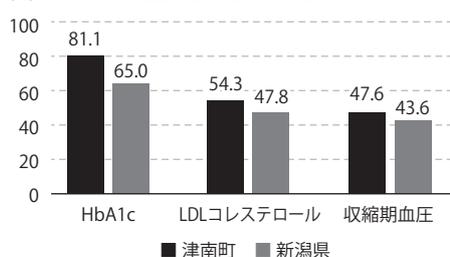
平日 午前8時30分～午後5時15分

■町の特定健康診査の結果で
多くみられる所見とは？

津南町の令和5年度の特定健康診査（40～74歳）の有所見率（特定健康診査受診者のうち何らかの異常所見が認められた人の割合）では、①HbA1c※1、②LDLコレステロール※2、③収縮期血圧の順で高くなっています。いずれも県平均よりも高く、特にHbA1cは8割を超えています。

また、問診票の状況では、1日30分以上週2回以上の運動習慣なし、喫煙ありなどの項目で、県平均より高くなっています。

R5 健診有所見率(上位3つ)



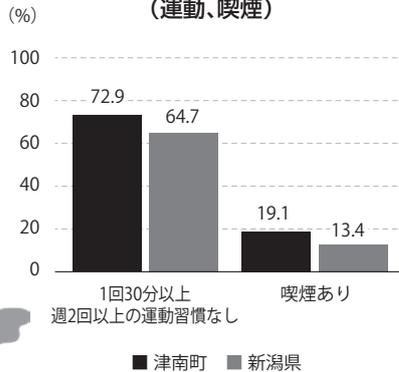
※1 HbA1c

過去1～2か月の平均的な血糖値のことで、直前の食事等の影響を受けない

※2 LDLコレステロール

悪玉コレステロールと呼ばれ、増えすぎると動脈硬化を起こす

R5 健診問診票の状況
(運動、喫煙)



■健診を受けたら、
生活習慣の見直しを



新潟県の令和元年の平均寿命と健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の間には、男性で約8年、女性で約11年の開きがあります。この開きは、「日常生活に介護等が必要な期間」を意味し、糖尿病やがん、心臓病、脳卒中などの生活習慣病が大きいかかわっています。

健診を受けたら、運動・食事・喫煙などの生活習慣を見直すことが大切です。自分に合った健康づくりを実践して生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を目指しましょう。

◆自殺は防ぐことができます

自殺は健康問題や経済・生活面の問題、家庭問題など、さまざまな要因が複雑に絡みあい、心理的に追い込まれた末の死と言われています。自殺の直前に精神疾患を発症している人の割合は多く、適切な治療や問題解決に向けた関わりにより自殺を防ぐことができます。

◆HUNOSOSI(はつたす)...

ストレスや悩みを抱えている人ほど、ひとりで抱え込む傾向があります。家族や友人など身近な人の行動や発言、体調の変化にきづいた時には声をかけ、本人の気持ちを尊重し耳を傾

短歌

雪影

「夏は来ぬ」口ずさむ亡母横におり
笹たけのこの皮むくわれの
板場麻実

夕食をとりつつ親子三人が
今朝のテレビのドラマ語らう
江村美智代

林の中木に絡み付く藤の花の
紫色が見え隠れする
小島香代子

土穴にはさみを見つけじつと待つ
沢蟹現れ「でかい」と吾子告ぐ
江村大輔
(大晴三歳)

じりじりと肌突き刺す日射しあり
猛暑の九月いつまで続く
津端恵子

稲刈りの昼休憩のコンバイン
秋の陽射しにひと息つきぬ
貝澤圭子

作り置きのレストランとパンで摂る
畑に精出し遅めの昼食
恩田久美子

ひ孫らの小さき手に入る
義母の骨一片ずつを墓に納める
丸山直子

薄叢を不意にそよがせ風入りぬ
陽の射す前のいつときの涼
小野寺恒代
(七月早朝)

夕暮れをしとしと降る五月雨に
土の匂いがかすかに在りて
高橋春枝

「愛をもちて子細に物を看よ」といふ
茂吉の歌にある初夏の風
鈴木綾子

長生学園

雨待ちて次つぎ枯れる夏野菜
この暑さ冬に欲しいと思ふ
中村武子

登校送る車に病葉散りきたり
気温下がりに雨後の国道
島田眞之

俳句

岩すげ俳句会 (八月)

夜の秋網戸越しなる白鳥座
蛾が飛んで蜘蛛じつと待つ夏の月
守人

蜜蜂の花粉の重き後足
炎天に蒸発しさう昼の月
緑

次の田へ急ぐ田植の小波かな
アイスクリューム堂々食べる日に一本
壽子

青芝に役目終へたる梯子寝る
股ぐらに寄せる渡瓶や夜半の秋
房良

満開のまつ毛のやうな合歓の花
公園で裸足で遊ぶ子とあそぶ
渡舟

地域づくり協力隊だより



内山 文寛

ごめんください。協力隊になって1年が過ぎました。この立場でいて、私には力と容量がまだまだ足りていないと感じています。

それでも、気になることはあり、この立場だから、関係性がなかったから、知らないから、言えたり、することができたり、教えてもらえたりすることがあります。

この間に、〈公益〉と〈公共〉についてよく思いを巡らせるようになりまして。マイナスは困るけれど、私益を考へなくていい立場で、私有から共有へと開いていくこと。一つひとつのことに対して、各々に同じ益にはならなくても、みんな過去から未来、此処と周りの益となるにはどのようにできるだろう。

既にあるもの、その豊かさをどう共有していきけるだろうか。この前、燃糸という言葉と技術と事業を初めて知りました。同じ頃に繕るという手仕事も。それらは目を見張るようなもので、工場では燃らされた糸にミクロンという単位の細い銅線が巻かれていて、むしろの上の作業では採ってきた植物を左右の親指と人差し指で繕り2本を

繕っていくのでした。それぞれ人の生活のなかで重ねて工夫され生活に足されてきたようでした。けれど現在に見れば、「アート」としても捉え直せるものです。ほとんどの事柄で価値の付け直しを部分的でも足すことができるように思います。それが新たな「益」を生むのではないでしょうか。

そうして、記憶や技術や自然や畑などの「資源」が循環し再生されていくと豊かさが継がれていきます。

もう一つ、龍ヶ窪が龍ヶ窪としてあるのはなぜだろう、それが最近思っていることです。湧水はたくさんあるけれど、周辺が変わってきたとはいえず、林に囲まれ、伝説が残り、名水に選定され、数十年前までは子ども一人で近づくのは怖いような、弁天様の前の橋を渡るにも葉を落とすしちやならねと、神域とされてきた場所が龍ヶ窪です。なぜかを解きつつ、できることを少しずつ。仲間も必要です。ここが心地よく共に有されていくとよいと思っております。

農業の豆知識

農業とお月見の関係とは

「出た出た月が〜」の童謡にあるように古くから日本人に親しまれてきた十五夜のお月見。空を見上げて美しい満月を愛でる行事ですが、農業とも深い関係があることをご存じでしょうか？

●長い歴史を持つ十五夜のお月見

かつて旧暦では毎月15日を十五夜と呼んでいました。特に旧暦8月15日の月は「中秋の名月」と呼ばれ、空が澄み、1年で最もきれいな満月を見ることのできる特別な日とされてきました。十五夜は平安時代に中国から伝わると貴族達



がまねをし、その後、庶民にも広がって一般行事として定着したといわれています。

●月見団子は元々里芋だった？

十五夜は庶民の間では月を愛でるといふよりも、秋の収穫を前に豊作を願う、農作物に感謝する収穫祭の意味合いが大きいものでした。現在、「お月様」に供えるのは稲に見立てたススキ、満月の形を模した15個の団子、お神酒が一般的ですが、江戸時代以前はこの時

期に収穫される里芋を月に見立てて供えていたことから、十五夜は別名「芋名月」とも呼ばれていました。



●今や幻となった十三夜のお月見

昔は十五夜の他にも旧暦の9月13日に当たる「十三夜」にもお月見があり、十五夜に次いで月が美しく、晴れの日が多かったことから、当時は十五夜よりも一般に普及していたといえます。また、十五夜は中国伝来なのに対し、十三夜は日本で生まれた風習とされていますが、いつの間にか、お月見は十五夜となってしまいました。昔は十五夜だけに月見をして、十三夜に月見をしないことを「片月見」といい、縁起が悪く不吉とされていたといえます。現代の暦において、今年の十五夜は10月6日、十三夜は11月2日です。

●月を眺めて収穫に感謝

十五夜は古くから続く日本の伝統行事です。当時の人も秋の収穫に感謝し、名月を眺めながら移ろう季節を感じたことでしょう。今年の十五夜は家の電気を消し、収穫に感謝しながら月を見上げて過ごすのも良いのではないのでしょうか。





書き付け教室のご案内

Tapでは例年、筆ペンを使った初心者向けの書付教室を行っており、大変人気があります。今年度も3回シリーズで行います。講師の丁寧な指導のもと、自分の名前を書く練習をじっくりとしてみませんか。

ぜひ、お気軽にご参加ください。

■日ごち

- ① 11月7日(金)
- ② 11月14日(金)
- ③ 11月21日(金)

■時間

午後1時半から3時半まで

■会場

津南町公民館1階研修室

■参加費(材料費を含む)

Tap会員 3,300円
非会員 3,900円

■定員

12名(定員になり次第締め切りとさせていただきます。)

■その他 筆ペン・紙など、教室時に必要な物は事務局で準備します。10月27日(月)までにTapにお申し込みください。

Tapハロウィンパーティー 参加者募集

Tapでは、今年もハロウィンパーティーを開催します。

サンビレッジ津南を会場に、色々なブースやゲームを用意して、皆さんに楽しんでもらえるように準備をしています。トリックオアトリート! 思い思いの仮装で一緒にハロウィンを楽しみましょう!

■日時

10月27日(月)
午後6時30分から8時まで

■会場

サンビレッジ津南
※クアハウス津南横の体育館です。

■その他

各小学校、保育園を通じて案内を配付します。申し込み等の詳細は、チラシをご覧ください。かTap事務局へお問い合わせください。



■各事業へのお申込み・お問い合わせ

NPO 法人 Tap (町総合センター内) TEL 025-765-5776



地域行事を舞台裏で支える

津南町では、四季折々に雪まつり、秋の収穫祭、伝統神事、運動会など、さまざまな地域行事が行われます。どれも町の顔ともいえる行事ですが、その舞台裏には、準備から運営、後片付けまでを担う多くの「支える人」たちがいます。

祭りの山車や灯籠を修理する大工、会場設営を担当する青年団、交通整理を行う自治会や行政、来場者をもてなす女性会やボランティア。行事ごとに役割はさまざまですが、共通しているのは「町のために」という想いです。中には何十年も同じ役割を続けてきた方もいます。

こうした裏方の仕事は、まさに「縁の下の力持ち」です。誰かが段取りを覚え、必要な道具を保管し、次の世代にノウハウを伝える。その経験と知恵の積み重ねがあつてこそ、毎年の行事は滞りなく実施され、町の文化や人のつながりが守られています。

しかし、担い手不足や高齢化で、多くの地区で「そろそろ次の人に引き継ぎたいが、なかなか見つからない」という声が聞かれます。

一方で最近では、若手メンバーがベテランから技を学び、SNSで集客を手伝ったり、道具の管理をデジタル化するなど、新しい方法で関わる動きも出てきました。

こうした小さな一歩は、地域行事の未来を支える大きな力になります。

地域行事を支えることは、単に作業をこなすだけではありません。それはまちの歴史や人のつながりを守ることもあります。事業やお店と同じように、行事の運営ノウハウも「承継」されなければ失われてしまいます。

地域行事の裏方には、多くの人の努力と経験が積み重なっています。

こうした知恵や技術を計画的に承継し、次の担い手に引き継ぐことが、私たちの暮らしと文化を未来へ届ける力となります。



写真提供：津南町観光協会



残したいモノ
タレコミ大募集!
詳細はこちら

■お問い合わせ 津南町下船渡戊 445-3 まちなかオープンスペースだんだん内
継業エリアマネージャー 担当：緒方 TEL 070-9245-9754

ブックタイム

広報ライブラリー

ながつき
9月 - 長月 -



元刑事が全国民に伝えたい シン・防犯対策図鑑

秋山 博康

スマホをはじめとした電子機器の発達や、グローバル化で闇バイトやSNSトラブルなど新しい犯罪が増えている現代社会。通称「リーゼント刑事」と言われた元刑事の秋山さんがまとめた大人も子どもも知っておくべき防犯マニュアルが収録されています。

秋の夜長の季節となりました。

朝夕はだいぶ過ごしやすくなってきた今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

読書の秋がやってきます！本を読みながら自己を見つめ直す機会や勉強をするチャンスです。皆様もこの時期たくさん本を読みましよう。その際は、ぜひ公民館図書室をご利用ください。

・公民館図書室からお願い！

8月末に蔵書点検が終わり、現在蔵書点検中に貸し出されていた本を返却されたものから随時点検している最中です。ご自身のお借りしている本の返却期限を今一度ご確認ください。もし返却期限を過ぎていましたら早めに返却をお願いします。

9月の新着図書 (HPでも検索できます)

※変更となる可能性があります。

【大人の本】

- 『道の駅コンプリートガイド2026』 扶桑社
- 『音声と写真でよみがえる昭和 戦後編』 NHK出版
- 『鎮魂の花火「白菊」』 河出書房新社
- 『日本老舗食堂大全』 辰巳出版
- 『エンドロール』 今野 敏
- 『マスカレード・ライフ』 東野 圭吾
- 『新・教場2』 長岡 弘樹
- 『本でした』 又吉 直樹

【子どもの本】

- 『もしも君の町がガザだったら』 ポプラ社
- 『みんなが知りたい! 文字のひみつ』 メイツユニバーサルコンテンツ
- 『10歳からの生成AIとの付き合い方』 日本能率協会マネジメントセンター
- 『ルルとララのふわふわオムレット』 岩崎書店
- 『あらしの島で』 ブライアン・フロッカ
- 『中生代水族館』 こた
- 『いちにちおこめ』 ふくべあきひろ
- 『ぞくぞくうきうきハロウィン』 フリーダ・ナエミ・パースソン

・移動図書室ひまわり号再開

今月からひまわり号が再開しました。蔵書点検で本を整理し、最近購入した新しい本を沢山持ってきます！早い者勝ちですよ！秋の穏やかな気候と鮮やかな紅葉を眺めながら皆様にお会いできるのを楽しみにしております。担当風巻もひまわり号秋の部、張り切ってます！まいりますのでどうぞよろしくお願ひします。

ひまわり号は、毎月町内の福祉施設や保育園、小学校等の25ステーションを回りますので皆様ぜひご利用ください。

・第1回津南町こども読書推進

津南町の未来を担う子どもたちの豊かな心の育成と健やかな健康を願い、子どもたちが意欲的に読書に親しみ、読書習慣を身に付けることが出来るような環境づくりを目指すために「津南町子ども読書推進計画」を策定し、令和8年度から実施する予定です。今回の会議では子どもの読書活動の実態調査に関するアンケートの内容の検討を行いました。子どもたちの意見を反映させ、子どもの視点に立った活動の推進が図れるように努めます。

・季節の本コーナー！

来月は10月ということでハロウィンやスポーツ、秋に関する本を展示する予定です。ハロウィンの絵本はこの時季になると、とても人気があり、すぐになくなってしまいます。

また、読書週間が控えているため、人気の作家さんの小説も展示します。手に取ってみてください。



津南町埋蔵文化財センター(6) うもれあ日記

「うもれあ」開館まで残すところおよそ1か月となりました。国道405号沿いのごつつお市直売所角には案内看板も設置されました。10月18日のオープン後は、次のような営業となります。

■入館料 無料

■休館日

4月1日～11月30日は月曜日

(月曜日が祝日の場合は翌平日)

12月1日～3月31日は土日祝日

および年末年始

■開館時間 午前9時～午後5時

(最終入館は午後4時30分まで)

■住所 中深見甲2348(旧中津小学校)



ミュージアムショップには見るだけでも楽しい商品が並びます

9月中は、県内の観光関係者や報道関係者などを対象に内覧会を実施し、たくさんのかたがたに利用していただけるよう周知活動を行っています。



ジオパークのビジュアースペース

また、オープンを前に次の日程で町民の皆さまを対象とした館内見学会を開催します。

10月5日(日)

1回目…午前10時～

2回目…午後1時30分～

申し込み等には必要ありません。開始時間までに、「うもれあ」へお越しください。

当日は、学芸員が展示の解説をしながら館内をご案内します。所要時間は1時間ほどです。ぜひ、この機会に足を運んでみてください。

■お問い合わせ

津南町埋蔵文化財センター

「うもれあ」 準備室

TEL 755-7011

苗場山麓ジオパーク

日本認定10周年

大阪・関西万博にて

苗場山麓ジオパークを

PRしてきました。

7月13日から17日まで、大阪・関西万博のギャラリーWESTにて、新潟県が県内の物産を紹介しました。新潟市、糸魚川市と並び、津南町も参加してきました。苗場山麓ジオパークの景観写真と中央にロゴマークを配置して認知度向上をPRしました。



そして、苗場山麓ジオパークの要素の1つであるカルチャーから、火焰型土器のレプリカと本物を展示しました。

来場者の皆さんは、歴史文化への興味が高く、そして、本物の火焰型土器が展示されていることに大変驚いていました。この土器をきっかけに、苗場山麓ジオパークを知ってもらい、訪れていただくよう、PRをしました。土器パズルも大変好評で、順番待ちをしていたくほど人気でした。

期間中は、2万人以上の来場者が訪れ、営業時間中は、人が絶えることがなく、万博の人手の多さに驚くとともに、関西方面のかたに本地域を紹介できる機会になりました。



■お問い合わせ

ジオパーク推進室(なじよん内)

TEL 765-1600

○秋季企画展「早津剛展－苗場山麓・秋山郷の民家－」

会期:9月6日(土)～11月30日(日)

入場料:300円(中学生以下無料)

全国の茅葺民家を描き続ける早津剛氏が描いた、かつて津南町・栄村に立ち並んだ茅葺民家の絵画を展示します。描かれた当時の風景をどうぞご覧ください。

<ギャラリートーク> 10月4日(土) 午後1時30分～3時



『上日出山の家』

○第7回苗場山麓ジオパーク研究コンクール作品展

会期:9月20日(土)～10月5日(日)

苗場山麓ジオパークをテーマに研究した地域の子どもの作品が並びます。

○縄文人の暮らし体験

日時:10月5日(日) 午前10時～午後3時

体験料:1,500円 対象:小学1年生～大人

縄文を着て、縄文ムラで一日縄文人になりましょう！黒曜石で食材を切って土器の鍋で煮込み、お昼を作ります。午後は、火おこしや弓矢づくりをして過ごします。



火おこし

○「縄文原体づくり」体験

日時:10月25日(土) 午前10時～12時

体験料:700円 対象:小学3年生～大人

縄文土器に縄目模様をつけるための道具、「縄文原体」を作ります。



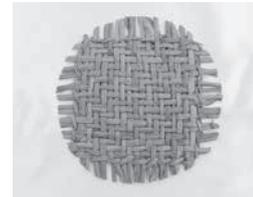
縄文原体

○「樹皮細工～ヤマブドウのコースター～」体験

日時:10月26日(日) 午後1時30分～3時30分

体験料:2,000円 対象:小学5年生～大人

ヤマブドウの樹皮を使って、網代(あじろ)編みのコースターを作ります。



ヤマブドウのコースター

10月		【なじよもん ☎ 765-5511】		予約受付中！当日受付も可 ※ただし定員になり次第締切ります	
日時	プログラム	金額	対象		
4日(土)	10:00～11:00	石鏃づくり	500	10才以上	
5日(日)	10:00～15:00	縄文人の暮らし体験	1,500	低学年以上	
11日(土)	9:00～10:30	身近な薬草	500	低学年以上	
12日(日)	10:00～11:00	苔玉づくり	700	低学年以上	
	10:00～11:30	勾玉づくり	500	低学年以上	
	13:30～15:00	勾玉づくり	500	低学年以上	
13日(月・祝)	10:00～11:30	そば打ち	1,500	中学年以上	
18日(土)	13:30～15:30	カラムシの糸撚り	1,000	中学年以上	
19日(日)	10:00～12:00	アンギン編み 初級編	1,000	中学年以上	
25日(土)	10:00～12:00	縄文原体づくり	700	中学年以上	
26日(日)	13:30～15:30	樹皮細工 ～ヤマブドウのコースター～	2,000	高学年以上	

戸籍の窓

おめでとう おさいます



風巻 須雲(大割野) 聡さん
藍菜さん

おくやみ もうしあげます



藤ノ木保子さん (94歳・船山)
島田 義通さん (87歳・割野)
根津 ケイさん (76歳・十二ノ木)
藤木ハツエさん (105歳・谷内)
古澤 春美さん (56歳・大割野)
大倉 サダさん (94歳・小下里)
富澤今朝次郎さん (89歳・船山)
中沢 カトさん (90歳・十二ノ木)
島田 英治さん (88歳・宮野原)

町長の部屋

～270ちゃんねる～



津南町長 桑原 悠

私がさっさと伝える
ことをお伝えして
いきます！

稲刈りシーズンとなりました。今夏は高温、渇水で農水大臣が視察に来られ、その後も連日「雨は降りましたか?」とご心配いただくほどでしたが、しっかりと降雨もあり、収穫時期を迎えました。1年の苦勞が報われる秋であってほしいと願っています。非常に日程が詰まっているため、金沢の北陸農政局には電話のみで直接足を運べていませんが、改めて私たちの津南町というのは、苗場農地開発とグリーンピア整備という、他の自治体にはないものを背負ってきた町なのだとしみじみと思った夏でした。そのどちらも岐路に立っているということだと思います。

8月30日、8月31日、9月6日、9月7日には、ニュー・グリーンピア津南施設民間譲渡の町民説明会を16会場で開催しました。町民の皆さまの民意を感じられる非常に良い機会であり、ご参加いただいた皆さまに感謝いたします。寄せられたコメントを踏まえて、今後、町議会とも議論を重ねてまいります。

グリーンピアの件は、日本の高度成長期からバブル期の資産処理の代表的なもので、かつ行政の財産となれば難しい仕事です。この時代に町政を預からせていただいた巡り合わせでもあると思います、ここまで一步一步、この課題を前にし、国や県、民間の知恵ある人のネットワークを色々な場面で取り込み、一緒に働く職員にも背中を見せ、伝えながら、次世代に課題を持ち越さない(まだ他にも課題がたくさん!)という思いでやってきました。今、皆さまからこの課題に関心をもっていただいたことで、移ろいゆく時や、町の歴史の歯車のようなものも感じました。

説明や意見交換の内容は、齟齬のないようお伝えするため、また編集や印刷スケジュールの都合もあり、10月5日号の広報つなごでお伝えします。



広報無線を「聞き直し」できるようになりました!

直前に配信された無線音声、電話で聞き直しできるようになりました。

■ 聞き直し電話番号

TEL 025-755-8026

※通話料はお客様にご負担いただきます。ご了承ください。

※同時に聞き直しができるのは2回線までです。

電話が繋がらない場合はしばらく時間を空けてご利用ください。

■ お問い合わせ 総務課総務班 TEL 765-3112



広報編集室
稲刈りの時期になります。今年の夏も暑や渇水などがあり、稲にとっても大変な夏だったと思います。それでも無事に育ったお米だからこそ、一粒一粒を大切にいただきますね。

表紙の写真 広島市で行われた平和記念式典に、津南中学校の生徒4名が参加しました。平和と歴史を学び、広島平和記念公園内に設置された平和の鐘を鳴らしました。

この紙は再生紙を使っています

津南町の人口

9月1日現在()内は前月比
■人口8,288(-13) 男4,028(-2) 女4,260(-11)
■世帯数3,402(+3) ■転入/9 ■転出/13 ■出生/0 ■死亡/9 ■婚姻/0

広報つなご No.771 ■令和7年9月22日発行 ■発行/津南町役場 〒949-8292
FAX 025(765)4625 ■ホームページ/ https://www.town.tsunan.niigata.jp/ ■電子メール info@town.tsunan.niigata.jp ■編集/総務課総務班